

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	みどり学園			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月26日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和7年12月26日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月11日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものみならず、保護者や兄弟への配慮を忘れずにかかわることを意識し、職員間で共有、園全体で支援をすることができる点。	保護者や兄弟児への障害理解や仲間づくりを目標に行事を行う。先輩の保護者との交流なども定期的に行う。保護者の健康状態等についても、情報を職員間で共有し対応している。	保護者向けの交流会や、勉強会などの定期開催。療育や園のサポートとしての、ボランティア活動の検討。
2	特定に時間の取り出しではなく、生活全般を通じた支援であること。	こどもの生活リズム、生理的欲求にあわせ、家庭での生活を想定した支援をすること。	安全に利用するための、遊具や環境の見直しと修理補修等。クラスを超えての療育支援の検討、より踏み込んだ自閉症児支援の取り組み。
3	支援についての振り返りを行い、職員間で共有しチームで支援をする点。	外部講師(川崎医療福祉大学、小田桐先生)を招いての定期的な研修会に職員全員が参加している。荘内外の研修への参加を積極的にしている。	講師を招いての定期研修の継続。クラスを超えての療育支援の検討、より踏み込んだ自閉症児支援の取り組み。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境や体制についての工夫がされているというものの、よりよい支援に向けて改善を進める工夫が十分でない点。	老朽化に伴う設備の故障により修理修繕が必要な状況が多くみられる。 緊急的に職員の応援体制が組みにくい。	環境の再度の見直し、職員体制の見直し。
2	非常時に備えての取り組みについて職員間で十分な共有ができていない点や保護者へ周知できていない点。	法人内での協力して取り組んでいることを、職員へ伝達講習等ができていない。取り組みを園の広報誌等で伝えていない。	訓練やマニュアルについて、職員会議等で伝達講習を行う。 園だよりでの報告、広報の仕方の見直し。
3	地域との交流や、園との交流。	法人として地域との関係づくり、交流が行われているが、園の規模での取り組みが十分できていない。地域の園との交流等では、こどもの実態と照らし合わせて協力連携関係できる施設が検討できていない。	こどもの実態を一番に考え、法人、地域社会の実情も踏まえ優先順位をつける。周辺環境を利用した療育の展開で地域との交流を進めたい。